



支部だより



焼津冒険合宿

城北支部

パン教室



9月29、30日と、子ども11名、大人2名で焼津青少年の家に、しまうま子ども会焼津冒険合宿に行ってきました。ちょうど台風24号が向かって来ているところでしたが、みんなの心がけがよかったので、キャンプファイヤーはキャンドルに変更となったものの、カヌーも外での肝試しも行うことができ、楽しさ満載の合宿となりました。

カヌーから始まり、館内宝探し、七宝焼き、体育館でのドッチボール大会、夜の肝試しとキャンドルファイヤーと、盛りだくさんの内容でしたが、子どもたちはみんな疲れ知らず。体育館での活動中に「休憩しよう。」と言ったら、「じゃあ、走っていい？」と走り出した子たちには思わず笑ってしまいました。肝試しは、焼津青少年の家の職員さんが粋なはからいで街灯を消してくれ、予想外の暗闇の恐怖と戦うことになった子どもたち。でも、最後は白塗りお化けにみんな大笑いになっていました。

さて、来年の合宿は何をやるのかな。



10月6日は、静岡農業高校でパン教室を行っていただきました。粉から生地をこね、ピザといろいろなパンを作りました。みんながおいしいパンを作れるように準備をして、やさしく教えてくれた農高の生徒さんたちには、心から感謝です。



10月27日、下川原天満宮で川原支部子ども相撲大会を開催しました。

学年ごと男女別々に川原小学校の校長先生を迎え、友達と参詣者らの声援を受けながら、力一杯優勝を目指して頑張って相撲を取りました。



川原支部



みずほ子ども会



みずほ2・3丁目子供会では、10月21日(日)に食育体験教室事業として、静岡県立農業高等学校の食品科学部主催の料理教室に参加しました。参加者は、子供35名、大人23名、合計58名と大勢の参加となり、賑やかな料理教室となりました。

今回は、4種類のパンとピザを作りました。粉を混ぜる行程から自分たちでやりました。はじめはペタペタと手にくっついた生地も、こねているうちにまとまってきました。ベツタン、ベツタンと生地をテーブルに叩きつけたら、またこねたり。子供たちの笑い声も聞こえました。パンの具材は、チョコレート、カスタードクリーム、あんこ、ソーセージ、コーンなどたくさんの種類があり、みんな楽しそうに選んでいました。好きな具材を選び、好きな形に生地

を成形、そうして焼きあがったパンは、本当に美味しかったです。良い匂いが教室いっぱいに広がり、できたてのパンを食べた子供たちの笑顔が印象的でした。ピザも自分で好きな具材をトッピングすることができました。ハート型のピザや猫の形のピザなど、子供たちのアイデアに感心しました。

自分で作った焼きたてのパンを食べる・・・最高の瞬間を体験することができました。いろいろと準備をしてくださった静岡農業高校食品科学部みなさまに、感謝の気持ちでいっぱいです。楽しい時間を子供会みんなで過ごすことができ、絆も深まったように思います。そして、今回の料理教室を通して、食べることの大切さ、作ることの楽しさをしっかりと感じる事ができました。

